

Kanpuku News

2024 Winter

関複ニュース No.

5



創立50周年記念式典祝賀会 (於 ロイヤルパークホテル)

- 年頭の挨拶 関複理事長 米田 和秀、各部長 新年の抱負
- 創立50周年記念式典・祝賀会
- 関複 令和4年度 第7、8、9回定例理事会
- 第9回 関複オープンゴルフコンペ
- 令和5年度 第14回PP維持更新・新規研修会
- 連載 事業継承問題 第3回「失敗事例から学ぶ事業承継」米田 和秀



関東複写センター協同組合

Canon

品質が
雄弁に語る、
現場が求める
一台。



印刷現場が求める、安定性と生産性、
そして高いメディア対応力を発揮。顧客ニーズに
応えた高品質な成果物で、プリントビジネスの
新たな可能性を生み出します。

imagePRESS
V1000



©オンデマンドプリンター ホームページ

canon.jp/pod-printer

カタログは、canon.jp/catalogからダウンロードしていただくか、ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンマーケティングジャパン(株) カタログ請求「imagePRESS」係までお送りください。※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報、は、カタログ送付の目的のみに使用いたします。



©キヤノンお客様相談センター

プロダクション向け
複合機

 **0570-08-0053**

(ナビダイヤル) ※おかけ間違いのないようご注意ください。

※ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4392におかけください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



平日9:00~17:00

(土・日・祝日および年末年始
弊社休業日は休ませていただきます。)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

年頭の挨拶

ものごとの本質を見据える

関東複写センター協同組合
理事長 米田 和秀



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さはさりながら、元日に発生した能登半島地震で被災された方々のことを思うと心苦しい気持ちで一杯です。被災された皆様の生活が1日も早く平穏に復することを心よりお祈り申し上げます。

去年は、ようやくコロナが収束し始め、日常が戻り始めたものの、長期化するウクライナ、さらにイスラエル武力紛争、中国経済の減速、世界的な物価高騰、気候変動の影響など、先行き不安なできごとが多発する1年となりました。

国内では5月以降対面イベントが一気に再開し、リアルのありがたみを感じつつも、喜びのあまりヒヤリとする場面も散見できました。本年は、国内の政治状況は混とんとしていますし、1月の台湾総統選、秋のアメリカ大統領選、中国経済状況、金利の動向なども含め、引き続き不透明感が続くのだらうと思います。

複写業界では、日本ドキュメントサービス協同組合連合会第39回通常総会において、楠本新会長が就任されました。前森下会長も新会長も全国青年部時代からお世話になっている大先輩。全国に業界仲間ができたのもこの会のおかげです。過去に固執することなく交流を深めて参ります。

そんな中、私事ですが2月に急性心筋梗塞

で緊急手術、3週間の入院となりました。元々6年前に狭心症で2本のステントとバルーンによる15カ所の拡張をしました。その後定期検査・診療を継続していたのですが、昨年末のコロナ感染後、年明けから体調が戻らず、緊急手術となりました。私にとって心臓病は父からの遺伝として捉えていたのですが、自覚症状がなく、今回も筋肉痛と勘違いしていたありさまでした。まさに「痛みの本質を理解していなかった」のです。そのことから今年は、「ものごとの本質を見据える」ことを目標として参ります。

理事会においても「そもそもその目的ってなんだっけ？」や「受け取り側は分かりやすい？」など、ひと考え加える議論を繰り返し、本質に近づける努力をして参ります。

当組合は、今年創立50周年という記念すべき節目の年です。1月19日には、記念式典&祝賀会が開催されます。半世紀という大きな節目を迎えた今、大転換なのか継続なのかの本質を見据えるチャンスです。まずは、過去の慣例や常識は一度リセットしてみて、事業についても優先順位をつけて進めて参りましょう！

次ページの各部リーダーからのメッセージにも是非目をお通しいただけるようお願いいたします。

各部長 新年の抱負

《会員交流推進部長》 柴田 昌彦



新年あけましておめでとうございます。

コロナウイルスのおかげで約4年間何をすることも不便を感じ、また人間不信にも陥りました。

運よくコロナ禍も明け、徐々に普通の生活に戻りつつあります。

今年は創立50周年を迎える事となり、記念式典を開催する事が出来る様になり、何よりも喜ばしい限りです。

さて会員交流推進部では昨年は年2回のゴルフ大会を開催致しましたがまだ、コロナに対して注意深く出席出来なかった方々もいらしたようにも思えます。

今後はゴルフ大会以外にも、催しするものがあればと提案しております。

組合員の方々のご意見、ご希望等が有れば是非お声掛け頂きますと幸いに存じます。

ご協力のほど宜しくお願い致します。

新年の抱負ということですが世知辛い世の中です。とりあえず健康に留意しこの一年を乗り切りましょう。

《教育情報部長》 家令 光国



新年明けましておめでとうございます。

長年続きましたコロナの影響も昨年5月より第5類の扱いになり、生活環境はようやく平常に戻ることができました。

組合におけるセミナーや見学会も多くの会員の皆様に会場へお集まりいただき実施することができました。

さて2023年を振り返りますと、野球やラグビーなどのスポーツで大いに盛り上がりましたが、反面、ロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・パレスチナ紛争など世界の一部地域では今なお心痛ましい争いが続いております。一方でそのような世界情勢のなか、今年は平和の祭典パリオリン

ピックが夏に開催されます。このアンバランスな状況が回避できるよう、一刻も早い和平への歩み寄りを期待したいですね。

そして避けては通れなくなっているのはAIの進化です。Chat GPTの出現により便利になった一方で廃業に追い込まれる職種も出てきております。我々にとってもメリット、デメリットをよく考え共存していく必要があると思います。まずはよく知ることが必要だと感じておりますので、未来に向けてのAIの動向や人類への影響をテーマにしたセミナーなども企画していきたいと考えております。

そして本年も各協賛企業様より有益な情報やセミナー、見学会などをご提供していただきますので、皆様のご協力を引き続きお願い申し上げます。

会員各企業様の更なるご発展を心よりお祈り申し上げます。

《広報企画部長》 早坂 淳



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、この度の能登半島地震により、被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、イスラエル・ハマスの軍事衝突、ロシア・ウクライナ戦争の継続、米中対立や台湾問題などの治政リスクの高まり、世界的なインフレと金融引き締め、歴史的な円安進行など、先行きの不透明感が

より一層強まった一年でした。

ご承知のように、今年は辰年ですが、本来の干支でいうと甲辰（きのえ・たつ）といわれるそうです。「甲」は優勢にあることをまっすぐ堂々とそそり立つ大木を意味し、「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物であり、めでたいことが起こると伝えられています。この二つの組み合わせである「甲辰」には、成功という芽が成長していき、姿を整えていくといった縁起の良さを表しているといえるそうです。

当組合の皆様と共に素晴らしい一年となりますよう邁進してまいりますので、本年もよろしくお祈り申し上げます。

《PP事業部長》 朝香 雅文



新年明けましておめでとうございます。

2023年はコロナ禍以降では比較的落ち着いた年だったと、個人的には思っております。

ただ、日本人の外出習慣はかなり変わりました。「アフター5」という言葉がもはや無くなりつつもあります。私の地元横浜でも、12月になっても関内・横浜駅等でもう過去の人出は見られず、コロナ禍前よりはあまり人が出ていないように思えます。

先進国で唯一、仕事終了後に家族無視の赤ちゃん文化もどうやら段々と無くなっていくようです。まあ、これも時代と言えばそれまでで何でしょうが。（少し寂しいですね…）

さて、PP（プライバシーポジション）の入会会員数ですが、北海道から沖縄まで70社の会社・組合等があります。

この中でも北海道地区の28社は、特定の組合を作りそこを中心にPPを全会員が所得している事を掲げて、役所等々からプライバシー関係の仕事を受注しております。

これは何処の地域でも簡単に出来る事では無いでしょうが、それにしても札幌のメンバーの成しえた事は大変に素晴らしく、会員の中でもPPで役所の発注まで漕ぎつけた、誇らしく凄い一例だと思っています。是非とも今年は札幌の細かい事業内容をPPメンバーで勉強する機会を作り、教えて頂き、各地域でも新しい仕事の受注に繋がればと考えております。

ただ価格を下げる仕事の取り方では、日本はデフレ経済から中々脱出できません。しっかりとしたスタンスで受注をしてこそ、昭和の様な緩やかなインフレの資本主義経済に戻れるのではないのでしょうか。何としても物価と所得を上げていかなければ、日本は世界の経済競争に勝てません。まずは出来る事から、今年も1年宜しくお祈りいたします。

関復 創立50周年

— 第1部 — 記念式典



昨年6月に創立50周年を迎えた関東複写センター協同組合(米田和秀理事長)は1月19日、創立50周年記念式典祝賀会(森迫隆正実行委員長)を東京のロイヤルパークホテルで開催した。第一部式典は会員交流推進部の中村保男部長が司会を務めた。まず、年初に発生した能登半島地震の犠牲者の冥福を祈り黙祷。その後、森迫隆正実行委員長が、歓迎の挨拶を行った。



森迫実行委員長



司会 中村部長

理事長挨拶



米田理事長は新年を祝い同組合への協力と支援に感謝を述べた後、50年間の歴史を創立から振り返り、思い出などを紹介。「私のモットーでもあるのですが大変なときこそ、笑顔を忘れてはいけません。そして組合がしてくれることを待つのではなく、組合を活用してなにができるかの姿勢が大切」とあいさつした。

来賓紹介／来賓祝辞

来賓を紹介し、来賓を代表して東京都中小企

業団体中央会の橋北隆総務課長と、東京ドキュメントサービス協同組合の梶宏朗理事長が、祝辞を次のように述べた。

橋北 隆氏：中小企業が持続的に成長、発展をしていくためには、互いの経営資源を持ち寄り経営課題の解決に取り組む組合の役割がますます重要になっております。企業の皆様が抱えている経営課題の解決を、組合を通して各種の策で支援しております。60周年に向かって、協同の力を遺憾なく発揮されますようご期待申し上げます。



記念式典祝賀会

梶 宏朗氏：今年の干支・甲辰(きのえたつ)は、新しいことにチャレンジしたり、これまで準備してきたことが形になる縁起



のいい年のようです。関復の皆さんは、自社を守りながら組織の継続に注力されて素晴らしいと思います。今後、お互いの組合が協力し合っ

記念表彰／被表彰者謝辞／閉会

記念表彰では、斎藤隆正前理事長（在任期間：平成24年～令和3年）に感謝状と記念品が贈呈された。和装姿で登壇した斎藤前理事長は「大企業並みの福利厚生を考

てハッピーでした。皆様方も楽しくやっていたらと思います」と謝辞。さらに、世界に通ずる着物の素晴らしさを語った。

関東複写センター



松岡豊副理事長は「皆さまからいただく詳しい情報を的確に捉えて意義ある発信をして、社会に貢献できればと思っております」と、第1部閉会のあいさつを行った。



松岡副理事長

— 第2部 — 祝賀会

祝賀会は、司会を務める森迫隆正副理事長の開会の言葉で開始。米田理事長は臨席へのお礼後「理事会は仲良く進んでいますが、未だに顔の見えない会員さんがあり、何を期待されているのかを聞いていません。行事や事業も含めて、次世代が入ってきておりません。今後は次世代につながる会になるよう、進めていきたいと思っております」とあいさつした。



お祝いの言葉



キャノンマーケティング
ジャパン 吉岡氏

お祝いの言葉は、賛会員を代表してキャノンマーケティングジャパン株式会社の吉岡康之氏が「50年間存続できる一般企業は、0.7%と言われ

ています。一つの団体が活動を続けてこられたのは、価値があることだと思います。新年のアクシデントがあり、いざというときに人と人のつながりが大事だと感じています。“自らがグループのために力を発揮する”という精神で今後も参加させていただきたいと思っています」／リコージャパン株式会社の河村浩治氏は、50年

前の同社のコピー機などを紹介し「50年前はオフィスのオートメーション化で、事業の転換期でした。現在はビジネスユニットを導入しております。



リコージャパン 河村氏

課題解決をするための生産性向上や、新規事業に領域拡大のお手伝いをしてお互いの事業実現をさせたいと考えております」と述べた。

乾杯／祝宴

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社の吉田栄孝氏の発声で乾杯し、祝宴となった。吉田氏は発声に先立ち「富士ゼロックスから現在の社名になりましたが、富士ゼロックスは創立から60周年、富士フィルムは明日20日で90周年となります。その間、地球上の“笑顔の回数を増やしていく”という気持ちを持ち続けて営業してきました。組合員の皆さまも、笑顔を増やしていただければ、と思います」と述べた。



富士フィルムビジネスイノベーションジャパン 吉田氏

スペシャルライブ ナターシャ・グジー氏

祝宴の途中で、近畿ドキュメントサービス協同組合の河村武敏理事長と、日本ドキュメントサービス協同組合連合会の楠本雅一会長からお祝いのあいさつがあった。



家令部長

進行は家令光国教育情報部長。「50周年にふさわしく、記憶に残るものとして、スペシャルライブを企画しました」と述べた。

グジー氏は「我がキエフ」「踊る娘」「いつも

何度でも」「秋桜（コスモス）」「カッチーニの「アヴェ・マリア」の4曲を演奏し、来場者は澄んだ歌声とバンドゥーラの響きに酔いしれた。



アンコール曲の「ふるさと」は来場者も一緒に歌い、さらに一体感が高まった。

グジー氏はライブの途中、民族楽器“バンドゥーラ”について解説し、ウクライナについて、支援活動のために組んでいるプロジェクトや、ウクライナ発祥の料理・ボルシチ等を紹介した。「ウクライナを身近に感じ、興味を持ってもらいたいです。名前のナターシャはナタリアの愛称で、日本語で言うならばなっちゃんです。良かったらなっちゃんと呼んでください」と流ちょうな日本語で話した。グジー氏は来日して24年、コンサートやライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やTV・ラジオなど多方面で活躍している。

アトラクション／閉会

また、アトラクションとして、クオカード1万円分、そしてグジー氏のサイン入りCDが当たるくじ引



きががあった。サイン入りCDはグジー氏がくじを引き直接手渡して、当選者との記念撮影もする豪華版だった。非常に和やかな内に閉会となり、柴田昌彦会員交流推進部長が、50年間の社会



柴田部長

経済情勢の変化などを振り返りつつ「今後はたとえ不景気でも、健康第一でいきたいですね」と述べて、一丁締めでお開きとなった。

令和5年度 定例理事会 報告

第7回定例理事会 10月12日 開催

開催場所：関東複写センター事務局、Zoom ハイブリッド形式

I. 【審議事項】

- ・創立 50 周年記念式典祝賀会について
祝宴の出演者はナターシャ・グジー氏。案内文送付時に、紹介チラシを同封する。
手土産については、次回に持ち越し。記念品はサーモスマグカップに決定。
案内文について、11 月末には各会員等に郵送する。

II. 【各部会の活動について】

- ▽ 会員交流推進部
 - ・第 9 回関復オープンゴルフコンペ報告：10 月 7 日、立野クラシック・ゴルフクラブにて開催。参加者 11 名。
 - ・忘年会：創立 50 周年記念式典祝賀会が翌月にあるため、中止。
- ▽ 広報企画部
 - ・「Kanpuku News」Winter 号（1 月号）について：記事内容は巻頭言、各部長あいさつ、名刺広告、各メーカー、PP 事業、理

事会、創立 50 周年記念式典祝賀会など。
1 月末発行予定。

▽ 教育情報部

- ・「Digital Printing World Autumn2023」10 月 26 日、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)豊洲ショールームで開催予定。
- ・創立 50 周年記念式典祝賀会は、セミナーを行わない。

▽ PP 事業部

- ・研修会は宇都宮地区と東北地区は終了、中部地区 = 10 月 14 日、東京地区 = 10 月 18 日、11 月 16 日に開催予定。東京の研修会集計完了。両日参加できない場合、資格剥奪も。

III. 【その他】

- ・富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)特別支援キャンペーンの必要性について。キャンペーンは今後、なくなる可能性がある。

第8回定例理事会 11月17日 開催

開催場所：関東複写センター事務局、Zoom ハイブリッド形式

I. 【審議事項】

- ・創立 50 周年記念式典祝賀会について
表彰状作成：松岡副理事長、筒の用意：森迫副理事長
案内状作成後、すぐに組合員、賛助会員、

PP 会員、春日出藍会に郵送する。

手土産はおかき、記念品はタンブラーに決定。

II. 【各部会の活動について】

▽ 会員交流推進部

- ・納会を 12 月 14 日、後楽園飯店にて開催

予定。

▽広報企画部

- ・「Kanpuku News」について、制作会社変更のため、今後の進め方等を10月26日、広報委員会を開催し確認。原稿等の一括窓口は事務局。
- ・関複 HP は、「Kanpuku News」Autumn号を更新済み。

▽教育情報部

- ・10月26日開催の「Digital Printing World Autumn2023」は、20社42名（内15名：関複関係者）が参加。大変勉強になった（家令理事）、いろいろな企業との交流にもなり、積極的に参加するとよいとの報告があった。

▽PP事業部

- ・研修会を11月16日、文京シビックセンター5階会議室Aで開催。11社13名参加。今後PP事業を、全国で広めたい。認証機関の管轄は、(株)ネクストステージビジネスコンサルティングのHPにPPのPRがない。管轄を関複事務局にしてはどうか、認証企業をPRしてほしい、PPパンフレットを作成し、広められると良いとの意見があった。

Ⅲ.【その他】

- ・富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)特別支援キャンペーンの必要性について。キャンペーンの今後については、メーカーの判断に任せる。キャンペーンを期待している組合員もいる等の意見があった。

第9回定例理事会 12月14日 開催

開催場所：関東複写センター事務局

I.【審議事項】

- ・創立50周年記念式典祝賀会について
理事会、式典、祝賀会の開催時刻、及び会場時刻決定。祝賀会の乾杯あいさつ依頼者は保留。出欠の集計はほぼ完了。

Ⅱ.【各部会の活動について】

▽会員交流推進部

- ・納会を12月14日、後楽園飯店にて開催。
- ・会員交流を深められる企画を考えていく（例ゴルフなど）。

▽広報企画部

- ・「Kanpuku News」Winter号（1月号）は神田先生のPPページを「Digital Printing World Autumn2023」（主催：富士フィルムBIJ(株)）記事に変更。

▽教育情報部

- ・創立50周年記念式典祝賀会・ゲストのナターシャグジーさんとの集合写真について、

確認をする。また、タイムスケジュールの共有希望があった。

▽PP事業部

- ・認証機関の管轄を、関複事務局に変更できるかどうか、他を神田幸夫先生（中小企業診断士）に確認する。

Ⅲ.【その他】

- ・三役会：12月25日15時～、事務局
- ・次回理事会：1月19日16時～、ロイヤルパークホテル



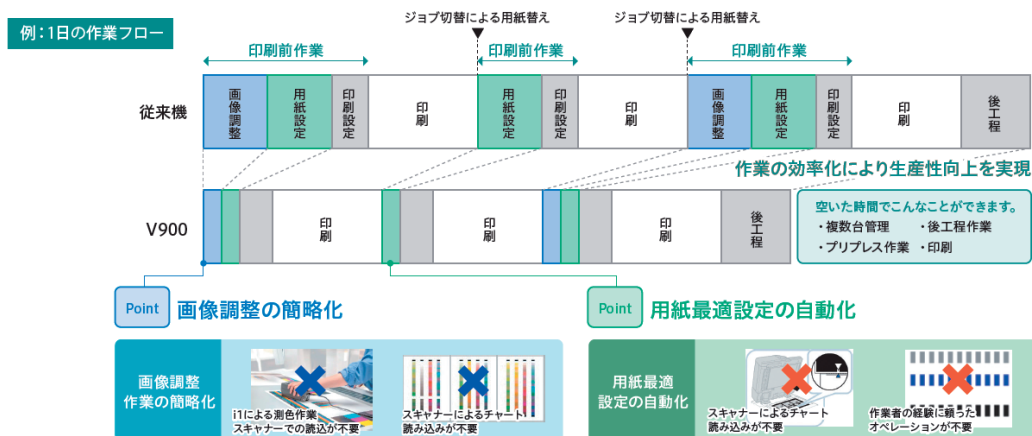
複写業に最適なコンパクトプロダクションプリンター “imagePRESS V900/V800”

カラープロダクションプリンター「imagePRESS (イメージプレス)」シリーズの新製品として、リリースいたしました“imagePRESS V900/V800”がご好評を頂いております。



新製品では、コンパクトなサイズでありながら毎分 90 枚 (V900 の場合、A4 ヨコ) の印刷速度、幅広い用紙対応力を備え、封筒やレザックなどの特殊用紙への対応力を強化、複写業におけるプリントサービスメニューの拡充を実現いたします。

また最近の POD 機は多機能なぶん操作が複雑化していますが、新製品では高度なスキルがなくても、印刷前の品質調整が簡単に実施でき、オペレーターの作業負担を大幅に軽減します。



おもな特長

コンパクト設計ながら、オプションユニットの拡張性と幅広い用紙対応力で多様な印刷が可能

- ・「imagePRESS V シリーズ」最小の本体は、最小構成で従来機より設置面積を約 37% 削減
- ・長尺紙をはじめとする様々な用紙を格納できる給紙ユニット、中綴じ可能なフィニッシャーなど、オプション追加で機能拡張が可能
- ・52g/m²から 350g/m²の厚さの用紙、封筒印刷では長形 4 号サイズにも新たに対応

印刷前の機器調整作業の省力化により、オペレーターの負担軽減と拘束時間短縮を実現

- ・自動原稿送り装置 (ADF) でチャートをスキャンするだけで、印字位置や色調整が可能。
- ・インライン分光センサーを採用し、高精度な色調整がボタン操作一つで実現。

★品川ショールームにて実機をご覧頂けますので、ぜひ担当営業までご連絡願います。★

国内外のデジタル印刷作品を評価するコンテスト 「Innovation Print Awards 2023」入賞作品発表

日本より最優秀賞を含む計4作品が入賞

富士フイルムビジネスイノベーション（以下、富士フイルムBI）アジアパシフィック（本社：シンガポール）は、同社が主催し、国内外の富士フイルムグループの印刷機器ユーザーによるデジタル印刷作品を評価するコンテスト「Innovation Print Awards（イノベーション・プリント・アワード、以下、IPA）」の2023年度の入賞作品を発表しました。日本からは、最優秀賞を含む4作品が入賞しました。

「IPA」は、富士フイルムBIアジアパシフィックが、2008年から毎年、アジア・パシフィック地域で開催しているコンテストで、富士フイルムBIのプロダクションプリンター「Revorio Press」シリーズやインクジェットデジタルプレス「Jet Press」シリーズ、ワイドフォーマットプリンター「Acuity」シリーズなどを使って制作された印刷作品を応募対象としています。応募作品は、アジア・パシフィック地域で開催される印刷関連のイベントや展示会などで紹介されるため、応募者である印刷会社やデザイン会社は、自身の技術・発想力を国際的にアピールする機会を数多く得ることができます。

本年度は、アジア・パシフィックの11の国と地域から275作品の応募があり、その中から39作品が入賞作品として選出。日本からは最優秀賞を含む4作品が入賞しました。尚、入賞作品および応募作品は、「グラフィックコミュニケーション東京※」をはじめとするショールーム、および各地域で開催されるイベントで展示される予定です。

※ 開設コンセプトである「変革」と「共創連携」を体感できる多様なコンテンツを展示する、グラフィックコミュニケーション事業のショールーム。最新のデジタル印刷機や、デザイナーとのコラボレーションによって生み出された出力物などを展示。

「Innovation Print Awards 2023」日本からの入賞作品

最優秀賞 Best Innovation Award 2023（インクジェット）／「芸術関連製品」部門 第1位

作品名：“SUN BOOK” by YOSHIROTTEN

企業名：株式会社サンエムカラー（京都府京都市）

出力機種：Jet Press 750S

作品説明：デザイナーYOSHIROTTEN氏による、アート作品365点からなる、展示会用アートブック。「高濃度でダイナミックレンジが広く、シャドー側の表情が豊かな印刷」を、デジタル印刷機「Jet Press 750S」で実現。表紙は12色のバリエーション、6センチの厚さがある小口部分に箔を施すなど、個性的な外観を持つ。365部限定販売。



「フォトブック」部門 第1位

作品名：メタバース時代の新たなフォトブック市場開拓 - VRフォトグラファーとアバター達の撮影会-

企業名：ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社（栃木県宇都宮市）

出力機種：Revorio Press PC1120

作品説明：MyAnimeList社（世界最大のアニメファンコミュニティの企画運営会社）が開催したVR Chat Worldでの撮影会で、VRフォトグラファーがVR空間でVRカメラを用いて撮影したアバターたちのフォトブックアルバムとポスター。RGB色域表現が基本のVR空間の特徴を限りなく再現した、Web3.0時代の新しい作品。



「大判印刷物」部門 第1位

作品名：Infographic Poster - World Energy Balances and CO2 Emissions 1975-2020 -

企業名：株式会社サン・ブレーション（東京都北区）

作品説明：世界のエネルギー収支とCO2排出量を題材にした、インフォグラフィック作品。インフォグラフィックとは、言葉や数字だけでは伝わりづらい情報を整理、分析、編集してイラスト・チャート・グラフ・表などで表現したもの。



「マルチピース」部門 第2位

作品名：闘病中の子どもたちへの支援活動 - Kurume University Children's Art -

企業名：株式会社昭和堂（長崎県諫早市）

出力機種：Revorio Press PC1120

作品説明：久留米大学病院で闘病中の子供たちの絵を使い商品化した、身長測定ポスターやカレンダー、トランプ。同病院に勤務する、小児がんならびに小児科領域の治療に携わる医師を中心としたボランティア組織が行っている、闘病中の子供たちを支える取り組みのひとつで、その収益は小児科領域の活動や病気の子供たちへの支援活動資金として還元されている。





ガーメントプリンター RICOH Ri 100 で印刷 オーガニックコットン T シャツ

環境対応のノベルティやグッズをもっと作りたいなら、
布に直接印刷できる RICOH Ri 100 もおすすめです！



🌿 RICOH Ri 100 でできる 2 つの環境対応って？

小ロット&在庫レスで環境負荷低減

製版不要で T シャツ 1 枚からすぐに印刷可能。オンデマンド印刷だから大量在庫も必要ありません。

安心安全のオーガニックインク

RICOH Ri 100 のインクは全て天然由来の原料で、環境に配慮し製造されています。「オーガニック認証団体の世界基準」と言われる国際有機認証機関エコサートの認証も取得しています。

🌿 環境対応メディアでさらに付加価値 UP

RICOH Ri 100 は小ロット&在庫レス、オーガニックインクと 2 つの特長を持っています。印刷する T シャツが農業や化学肥料を使わない農地で栽培されたオーガニックコットンを使用したものであれば、より一層環境配慮への取り組みが行えます。

そんなオーガニックコットンを使った T シャツはこちら！



SLOTH オーガニックコットン T シャツ

🌿 特長

農業や化学肥料を使わない農地で栽培されたオーガニックコットンを使用。

全ての製造工程において、国際的な認証機関による検証を行い、承認を受けた工場生産しています(写真の T シャツの色はナチュラルです)。

カラー：ナチュラル/ブラック/ネイビー/ダスティブルー/ダスティピンク
サイズ：110 / 130 / 150 / S / M / L / XL / XX



RICOH Ri 100
製品ページは
こちらから



T シャツの
製品サイトは
こちらから



新年明けまして おめでとうございます

関東複写センター協同組合

理事長

米田 和秀

株式会社日本工業社

〒104-0033 文京区白山 2-37-7

関東複写センター協同組合

副理事長

松岡 豊

株式会社アイワコピー

〒123-0845 足立区西新井本町 2-27-15

関東複写センター協同組合

副理事長

森迫 隆正

国際写真株式会社

〒103-0007 中央区日本橋浜町 2-33-7

関東複写センター協同組合

理事

朝香 雅文

株式会社ドキュメント

横浜市中区尾上町 35 横浜第一有楽ビル 5階

関東複写センター協同組合

理事

柴田 昌彦

有限会社ブックセンタークリエイト

〒104-0033 中央区新川 2-15-7 坂田ビル

関東複写センター協同組合

理事

早坂 淳

株式会社ケーヨー

〒103-0023 中央区日本橋本町 4-1-6

関東複写センター協同組合

理事

家令 光国

株式会社三千和商工

〒105-0004 港区新橋 6-10-7 ミチワビル

関東複写センター協同組合

理事

中村 保男

株式会社青工社

〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-30-8

関東複写センター協同組合

監 事

北島 雄二

株式会社共立工業社

〒 102-0073 千代田区九段北 4-3-16
サンライン第 14 ビル 1 階

関東複写センター協同組合

理事相談役

齋藤 隆正

株式会社シー・アンド・アール

横浜市中区尾上町 35 横浜第一有楽ビル 5 階
(株)エフ・アイ・エス内

関東複写センター協同組合

相談役

杉山 金太郎

幸和技研株式会社

〒 160-0004 新宿区四谷 3-9 光明堂ビル

関東複写センター協同組合

事務局

渡邊 浩財子

〒 112-0002 文京区小石川 1-4-12
文京ガーデン ザ ウェスト 704 号室



第9回 関復オープンゴルフコンペ開催

会員交流推進部長：柴田昌彦

令和5年10月7日(土)、前回と同じ千葉県市原市の「立野クラシック・ゴルフ倶楽部」にて開催いたしました。空が澄み清々しい秋を感じる時候の中、3組(参加者11名)にご参加いただき、大きな事故もなく、無事終了することが出来たのも、皆様のご協力があったこそと感謝しております。

新型コロナウイルス感染症への対策は、日に日に緩和され、出来るが増えて参りました。その分、感染される方や農耕接触者となり自宅待機になる方が増えているようです。日々、体調に気を付けてお過ごしください。

これからも、親睦を深めるため(研修会等含め)色々な企画を検討し進めてまいりますので、皆さまお誘いの上ご参加いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

成績の上位の結果は、下記の通りです。

順位	順位
優勝	井上一美様
準優勝	石毛健雄様
第3位	山崎和仁様

※協賛会員さまよりたくさんの賞品提供を頂きました。改めて心よりお礼を申し上げます。



令和5年度 第14回 PP維持更新・新規研修会を開催

昨年までは、試行錯誤しながら特例の YouTube や、DVD での対応で研修を行っていましたが、ようやくコロナ禍が緩和され、全国リアルで開催され無事終了いたしました。

本年度は、「北海道地区」新規2社(2名)・更新26社(33名)、「東日本地区」6社(9名)、「宇都宮」2社(6名)、「名古屋」1社(5名)、「東京(沖縄・九州・中国・四国含む)」33社(35名)の計70社(90名)と、数多くの方々が熱心に研修を受講されました。

研修内容は、マイナンバーカードについて、個人情報漏えい事例と対策、本年改正される個人情報保護法について、ヒヤリハット事例など講師から様々なことを学ぶことが出来ました。



北海道地区研修会の模様（開催日：9月9日）



東日本地区研修会の模様（開催日：10月7日）



東京地区研修会の模様（開催日：10月18日、11月16日）

連載

事業承継問題

〈第3回〉失敗事例から学ぶ事業承継

株式会社日本工業社 会長：米田 和秀（関東複写センター協同組合理事長）



米田理事長

■はじめに

前は、私の知り合いの会社で経営者の自己開示がないことで後継者とかみ合わないばかりか大きな溝を生んでしまった事例をあげました。今回は、譲る覚悟ができていない経営者の失敗例とその回避策についてお話します。実は私自身も譲る覚悟は十分できているつもりでいました。当時社長室は総務財務部に同居していました。翌春に新年会を兼ねた社長交代式を控えたある日、財務部長が、「社長あと1ヶ月ですよ。机の中片づいてるんですか?」と聞かれハタと気づきました。当然私の席は次期社長が座るのです。私はフリーアドレスエリアに移ることを全社に公言していたのです。ところが、忙しさにかまけて足元のことを後回しにしていたのです。以前社長室から会長室にプレートだけ変えて、社内外から響きを買った失敗例を聞いていたのでその轍は踏むまいと意気込んでいたものの、抜け落ちていました。その後慌てて断捨離を進めることで気持ちが固まってきました。まさに「モノの整理は心の整理」です。

■経営者の覚悟を明確に

事業承継において、譲る側の覚悟は肝と言って過言ではありません。それに対して直言できる後継者や幹部はまずいないでしょう。逆にそれをいいことに社内に先代派、後継者派ができ社内分裂の危険性もあるのです。だからこそまずは経営者が覚悟を固めることが大切です。また覚悟は一度固めればよいのではなく、何度も何度も杭を打つがごとく繰り返すことで揺るがぬものになっていくのです。居場所を変えることひとつにしても、なかなか決断できるものではありませんが、実行することでいろいろな発見もありスムー

スに事が運ぶのでお勧めです。

■セカンドライフを一緒に考える

いわゆる昭和の経営者は、会社、仕事が人生そのものだった方が多いのではないのでしょうか。弊社でも経営者始め幹部も「家庭のことは女房に任せておけばいいんだ!」が常識でした。私自身もリタイア後の人生計画など真剣に考えたこともありませんでした。

弊社の事例で書きましたが、後継者の学校では受講生の最初の課題が、「先代のセカンドライフを一緒に考える」です。ほとんどの受講生は、「親父のことなんかめんどくさいですよ」「たぶん仲間とゴルフでもやるんじゃないですか?」と後継者は先代に関心がありません。実際弊社では、「これからは楽しめることをやったほうがいいよ! なにをやれば楽しめそう?」と質問されて、最初に「地元ボランティア」を挙げました。それに加え経験を活かして「事業承継のサポート」と人脈を活かした「ビジネスマッチング」の3つを掲げました。そして一緒に肉付けをしていきました。

前述の「仲間とのゴルフ」も健康にもストレス発散にもなると思いますが、お役立ちという面で長続きは難しいのではないのでしょうか? 結果、古巣が恋しくなったり、後継者経営が気になって余計な口出しをしては、後継者はやりづらいでしょう。それを防ぐためにも大変でもセカンドライフを一緒に決めることをお勧めします。「前向きな追い出し作戦」と言えるでしょうね(笑)。

■事例企業について

今回の2社は、私が自社の事業承継の事例発表の折に質問を受けた経営者の事例です。それだけに本音の話を聴くことができました。

プライド、遠慮、取るに足りないなどと自分の価値観で決めるのではなく、未来を担う後継者へのメッセージとして勇気をもって向き合うことが、身を引く覚悟と引き継ぐ覚悟をお互いに醸成するチャンスなのです。

■事例1（オフィス家具・SP販売）

【会社概要】

- ・創業：昭和4年（1929年）
曾祖父（初代）が上京し荒物雑貨店を創業。祖父（2代）、父（3代）と業容を拡大し、現在は四代目。まもなく100年企業
- ・企業理念：「何とかならないかな？」に対して「何とかしましょう!」
- ・資本金：1,000万円
- ◆父（70代前半）3代目
 - ・社長退任後も会長として継続
 - ・毎日は出社しないが、会議には出席
 - ・経済団体の役職で多忙
- ◆長男（45歳）
 - ・大卒後、オフィス家具メーカーに勤務後入社
 - ・青年会議所で活躍

【解説】

後継者が取締役の時からの付き合い企業です。以前に後継者の覚悟ができていないかを質問してみました。すると「株の承継は進んでいるの?」との問いに、「おやじが銀行とやっているとしますよ」との返答。覚悟のなさを感じたことを思い出します。その後、社長就任後近況を聞く機会がありました。会長は、出社はせずに経済団体の活動を中心としています。唯一経営会議にはオブザーバーとして出席。これまで会長が担当していた得意先は若手営業に引継がれました。営業が停滞の報告を受け「そんなわけないだろ!」と口を出したのです。さらに伝票の担当者欄にカッコ書きで自分の名前を入れるように強要したのです。それに憤った社長が、その場で多数決裁判を行い、当然ながら否決されました。

私が社長に注意したのは、会議の場でしかも多数決に持ち込んだこと。周囲は親子げんかに付き合わされることになるからです。席を変えて2人できちんと説得する時間が大切なのです。

■事例2（不動産管理業）

【会社概要】

- ・創業：昭和27年（1952年）
電気設備の工事を行う専門の会社として創業してから、総合ビル管理、リニューアル工事、そしてプロパティマネジメントと着実に事業を拡大。70年間黒字経営
- ・企業理念：価値ある建物を技術をもってつくり活かし続け、そこに関わる全ての人をゆたかにすること
- ・資本金：8,100万円
- ・従業員数：231名
- ◆父（77歳）2代目
 - ・1946年生まれ。1987年2代目として社長就任。2018年代表取締役会長に就任。業界団体や経済団体の役員を歴任。現在は取締役会長
- ◆息子（47歳）
 - ・大学・大学院で建築を専攻。卒業後コンサルティング会社に就職。2年後に父から招聘され入社。営業経験後、営業企画部門に異動
 - ・専務取締役を経て2018年に代表取締役に就任

【解説】

事業承継講演後の食事会で後継者との関係性の悩みを打ち明けられました。早速その場でホームページを閲覧すると、代表取締役会長、代表取締役社長のダブル代表。金融機関要請なのかと聞くと、「業界常識」だとのこと。いまだき業界？視点がズレているかと正直感じました。その後、後継者への愚痴が続き、とどめは、突然ホームページから自分の写真と名前が消されたとの嘆き。さて、ホームページは誰のためのものでしょう。業界の仲間が見るためのもの？会長のプライドのためのもの？いいえ、現在そして未来のお客様が見るものです。後継者は業界をないがしろにしたのではなく、目的をはっきりさせたのだと思います。突然変えたことはともかくこの後継者は、なかなか実力者だなと感じました。

■今回は、私が社員承継に関わった企業の事例です。スタートは良かったのですが、現在揉めに揉めている現状とその原因をできる限りご紹介します。

令和5年 関複セミナー実施ご報告

去る2023年10月26日(木)の15時から、当組合協賛会員である富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社様のご協力により、関複セミナー「Digital Printing World Autumn 2023 — デジタルプリンティングがもたらす最新の提供価値を一挙公開！ —」が開催されました。



ほぼ満席のセミナー会場の様子

本イベントは関東複写センター協同組合の組合員向けに企画されましたが、広く複写・印刷業界の皆様にも門戸を広げるため、東京ドキュメントサービス協同組合会員企業、その他首都圏の複写・印刷関連企業にも開催のお声がけをし、当日は会場の富士フィルムビジネスイノベーションジャパン豊洲ショールームに20社42名という多くの方が来場されました。(関東複写センター協同組合関係者は15名の来場)

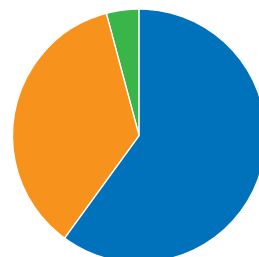
当日はオープニングで、当組合の米田理事長より開会のご挨拶が行われた後、最初にセミナー講演1として『オンデマンド×特殊マテリアルご紹介 コンテンツの価値を引き出す用紙マテリアル』と題し、特殊マテリアル(印刷する用紙等の媒体)の詳細説明とともに、マテリアル活用のお客様事例のご紹介がありました。続いてセミナー講演2として『グラフィックコミュニケーション事業における新たな取り組み事例』と題し、グラフィックコミュニケーション事業における同人誌市場の事例及びデザイン専門学校との協業事例のご紹介がありました。その後、第3

部として、来場者が3つのグループに分かれて3カ所の展示コーナー(■展示1:デジタル印刷が実現するエシカル消費のマテリアル事例展示、■展示2:デジタル印刷機 Revoria (レヴォリア)のデモ、■展示3:PODプリンター Apeos Pro (アペオス プロ)のデモ)を見学しました。そして、エンディングで東京ドキュメントサービス協同組合の梶理事長がご挨拶を行い、盛況のうちに閉会しました。

〈アンケート結果〉

質問：
本日のセミナーはご満足いただけましたでしょうか？

非常に満足	15
満足	9
普通	1
やや不満	0
不満	0



『Kanpuku News』表紙掲載写真ご提供のお願い

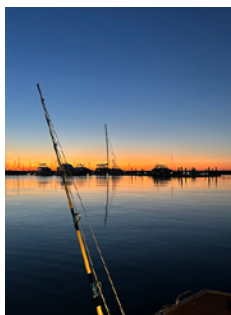
Kanpuku News では毎月、表紙の掲載写真を理事の皆様のご協力で投稿頂いております。今後は会員同士のコミュニケーションも含め多くの会員皆様からの投稿をお願いしたいと思います。

題 材：フリー

撮影機材：一眼レフ～スマホ全て可能
※タイトル又は簡単な説明を 30 文字程度付けて下さい

送 付 先：メールにて以下へ送付して下さい
kjun@keyo.co.jp

※写真は横長タイプを推奨します



Kanpuku News No.4: 家令光国氏
横浜朝焼け

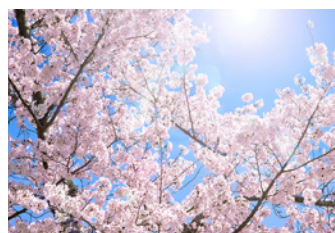


■今月号の掲載写真

創立 50 周年記念式典祝賀会
(於 ロイヤルパークホテル)



Kanpuku News No.3: 渡邊 浩財子氏
渡嘉敷にてスキューバダイビング



Kanpuku News No.2: 渡邊 浩財子氏
春爛漫

関東複写センター協同組合季刊誌

Kanpuku News

2024 Winter **No.5**

令和 6 年 1 月 29 日発行

購読料／年間購読 2,000 円（消費税・送料込み）
1 部 500 円（税込み・送料別）

編集発行人：関東複写センター協同組合
広報企画部 Kanpuku News 編集委員会

発 行 所：関東複写センター協同組合

住 所 〒112-0002
文京区小石川 1-4-12
文京ガーデン ザ ウエスト 704 号室

T E L 03-3815-4338

F A X 03-3815-4357

Eメール info@kfcc.or.jp

U R L <http://www.kfcc.or.jp>

印 刷 所：株式会社ケーヨー



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

真の プロダクション 印刷システム



印刷生産機としての実稼働率の向上、より高い品質の印刷物をより確実に、安定して供給。そしてそれらをスキルレスでのオペレーションで実現する。プロダクション印刷システムの基本性能向上に拘った真の生産機、それが、AccurioPress C6100シリーズです。

AccurioPress C6100/C6085

色管理・表裏見当調整を自動化

用紙厚によらず毎分100枚※1の高速出力

受注幅を拡大する400g/m²の厚紙対応力

独自技術を駆使した高画質と色安定性

サービスの多様化を推進するフィニッシャー群

※1: C6100にて、A4ヨコ・52~400g/m²紙時



*写真はC6100にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

●商品に関するお問い合わせは ☎0120-805039 受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00(土、日、祝日を除く)

<http://www.konicaminolta.jp>



Revoria™

Revoria™ (レヴォリア) は
富士フィルムビジネスイノベーションによる
プロダクション・プリンティング・ソリューションの
ブランドです。

わたしたち富士フィルムビジネスイノベーションは、
皆様と共にプリントビジネスの可能性を広げ、
富士フィルムグループの一員として
真に価値ある製品やサービスの創出に貢献します。

RICOH BUSINESS BOOSTER

私たちは“仕事を創る”、“仕事を回す”、“仕事が見える”の3つの視点から、
印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動

『RICOH BUSINESS BOOSTER』を推進しています。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、

時には共創活動を通じて新たな価値を生み出しながら、

それぞれの解決策を導き出していきます。

印刷事業者の“真”のパートナーとして、

前例にとらわれない新たな答えを創りだす。

『RICOH BUSINESS BOOSTER』は私たちリコー日本の
新たなビジネスコンセプトです。